

総合講義（I）

コーディネーター：口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 佐藤和朗教授
 ：医療工学講座 武本真治教授
 ：解剖学講座 機能形態学分野 藤原尚樹准教授
 担当講座（分野）：歯学部専門教育担当教員

第5学年 前期・後期

	講義	演習
前期	105.0時間	12.0時間
後期	91.0時間	15.0時間

教育成果（アウトカム）

臨床実習において診療参加型実習を実践している中で、科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践するために、歯科医学臨床に直結する内容で今までに学んだ専門分野の知識を振り返り、知識と技能の融合を行う。（ディプロマ・ポリシー：5、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。第4学年までに修了している各系統講義で用いた学習資料（教科書、レジメ等）の該当項目に関して、予め事前学習を行った上で、講義に出席すること。講義終了後は、教科書や事前学習教材を利用し事後学習を必ず行うこと。

また文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム 健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成「健康長寿社会を担う歯科医学教育」のビデオ講義については、下記のアドレスに関連するコンテンツが掲載されているので、事前に参照すること。<https://mdp.dent.okayama-u.ac.jp/ocw/index.php>

特記事項・その他

講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。また、事前に当該科目のDESS演習を活用する。

講義日程（1限：8:40～9:40、2限：9:50～10:50、3限：11:00～12:00、4限：13:00～14:00、5限：14:10～15:10、6限：15:20～16:20、7限：16:30～17:30、8限：17:30～18:30）

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月25日(月) 13:00～16:10		必修試験①	
3月26日(火) 1限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	肉眼解剖学・歯の解剖学の基本的内容のまとめ 1 必修問題に必要な肉眼解剖学と歯の解剖学について体系的に生理・理解する。	1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 [E-2-1)-②③⑥⑩, E-2-2)-⑥, E-3-1)-②] 事前学習：必修試験の該当領域およびDESSの類似問題を元にまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項ついてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月26日(火) 2限	大津圭史准教授 (発生生物・再生医学)	組織・発生学の重要領域のまとめ 組織・発生学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができるようになる。	1. 組織・発生学の重要領域について説明できる。 2. 組織・発生学領域における自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-2-2)-①、E-2-3)-①] ICT 端末を持参すること。
3月26日(火) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	生理学領域の歯科医師として必要な知識 歯科医師として習得すべき生理学の基本的知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な生理学の知識を習得するための、効率的な勉強法を確立することができる。 [C-3-4)-(4)-①~③、 C-3-4-(5)-②~④⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月26日(火) 4限	岸光男教授 (予防歯科学)	予防歯科領域の勉強法 予防歯科領域学習目標とそれに対する、勉強法を見つけることができる。	1. 予防歯科領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [A-2-1)-①~⑤]
3月26日(火) 5限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問題1 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：歯科矯正学の必修問題についてまとめ、各自の弱点ならびに疑問点を抽出すること。
3月26日(火) 6限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な障害者歯科領域の知識を修得することができる。	1. 障害者歯科学の重要領域を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
3月27日(水) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目ならびに唾液の成分について理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. 唾液成分の由来や機能について説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、E-2-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：唾液成分について、5年次の総合講義 I で使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
3月27日(水) 2限	入江太朗教授 (病態解析学)	必修試験1解説講義 病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。 2. 循環障害、増殖と修復について説明できる。 [C-5-1)~3)] 事前学習：スタンダード病理学 p74-109, p42-60 を読み、疑問点を抽出しておくこと。 (60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月27日(水) 3限	千葉俊美教授 (関連医学)	内科学領域必修問題 1 内科学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-6-①、E-6-②、E-6-③] 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
3月27日(水) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域必修問題 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月27日(水) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学領域必修問題 クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
3月27日(水) 6限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題 1 歯科麻酔学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：必修試験問題領域について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
3月28日(木) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	薬理学必修知識 1 歯科医師として習得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
3月28日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	歯科理工学必修試験解説講義 1 歯科理工学領域の基本的事項について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートの必修試験1で出題された問題に関連する項目に目を通して講義に臨むこと。
3月28日(木) 3限	佐々木実教授 (分子微生物学)	微生物学・免疫学必修 1 (必修講義) 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。	1. 微生物学・免疫学の歴史と発展について説明できる。 2. 院内感染対策について説明できる。 3. 生体の免疫機構について説明できる。 4. 口腔の生態系について説明できる。 [A-5-3)-①、②、C-3-1)-①～③、⑥、C-3-2)-①～⑦、E-2-4)-(9)-②、③、E-1-4)-⑥、⑧、E-2-4)-(3)-①、E-3-2)-①～⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する必修問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月28日(木) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	歯内領域必修問題 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：国家試験出題基準の歯内領域必修部分を読んでくること。
3月28日(木) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	修復領域必修問題 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：国家試験出題基準の修復領域必修部分を読んでくること。
3月28日(木) 6限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	放射線領域の基本1 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2)-①～⑨]
3月29日(金) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科領域必修問題1 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 必修試験①の試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-3-①～⑥]
3月29日(金) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	補綴領域必修解説① 有床義歯学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(2)] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月29日(金) 3限	氏家隼人助教 (小児歯科学)	小児歯科学領域必修問題 小児歯科学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科学領域の必修問題を解くことができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：過去5年分の小児歯科学領域の必修問題を確認しておく。
3月29日(金) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント領域必修問題 口腔インプラントの基本的事項について理解する。	1. オッセオインテグレーションの概念および初期固定、二次固定を説明できる。 2. 口腔インプラントの利点を説明できる。 [E-3-4)-(3)-①～③] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
3月29日(金) 5限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	総合領域必修問題 総合歯科の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-4、A-5] 事前学習：国家試験出題基準の修復領域必修部分を読んでくること。
3月29日(金) 6限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	一般教養問題 一般教養領域の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-9] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んでくること。
4月12日(金) 13:00～16:10		必修試験②	

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月16日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	自律機能 自律神経系の働きを理解する。	1. 交感神経と副交感神経の働きを説明できる。 2. 交感神経と副交感神経の走行の違いを説明できる。 3. 自律神経系の神経伝達物質と受容体を説明できる。 [C-3-4)-(5)-②～④、C-3-4)-(5)-⑨] 事前学習：自律神経について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月16日(火) 2限(9:50～ 10:50)	う蝕治療学分野 岡田伸男講師	齲蝕 保存修復学 1 診査・診断	1. 齲蝕の診査法を説明できる。 2. 齲蝕の診断ができる。 3. 急性齲蝕と慢性齲蝕の違いを説明できる。 [E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-(7)] 事前学習：齲蝕の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書(医歯薬保存修復学)にて確認する。
4月16日(火) 3限(11:00～ 12:00)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	齲蝕 歯内療法学 1 診査・診断	1. 歯内療法に必要な診査法を説明できる。 2. 歯内疾患の診断ができる。 3. 診査に必要な器具と使用方法を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄疾患の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書(医歯薬歯内治療学)にて確認する。
4月16日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義1) 「超高齢社会を見据え た未来予想図(前)」 飯 島 勝矢 48分	1. 地域における多職種で高齢者を支援する 「地域包括ケア」の概念を理解する。 [B-2-2-①②③④⑧] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
4月23日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 山田ありさ助教	抗炎症薬 歯科診療を行う上で必要 な抗炎症薬を理解する。	1. 抗炎症薬の作用機序を説明できる。 2. 抗炎症薬の副作用を説明できる。 [C-6-2)-(②、C-6-4)-(①)] 事前学習課題：作用機序と副作用についてまとめておくこと。
4月23日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯周療法学分野 八重柏隆教授	歯周病学 1(要点1) 歯周領域に求められる演 習問題を理解し、歯周外 科を中心に要点を理解す る。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明 できる。 2. 歯周領域の演習問題が理解できる。 3. 歯周領域の要点を修得できる。 [E-3-2)-(①③④、E-3-3)-(3)-(①～③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー2版、臨 床歯周病学2版で復習しておく。
4月23日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義 1 解剖学	1. 解剖学における必修事項を再度確認し、理 解する。 事前学習：既に行われた必修試験2の解剖 学に関する範囲を履修すること。
4月23日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義2) 「超高齢社会を見据え た未来予想図(後)」 飯島 勝矢 49分	1. 地域における多職種で高齢者を支援する 「地域包括ケア」の概念を理解する。 [B-2-2-①, ②, ③, ④, ⑧] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月24日(金) 8:50~12:00		必修試験③	
4月25日(木) 8限(17:30~ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義2 組織学	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の組織学に関する範囲を履修すること。
5月7日(火) 1限(8:40~ 9:40)	分子微生物学分野 下山佑講師	微生物学総論 病原微生物の生物分類学上の位置づけおよびその性状を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 [C-3-1)-(①, ②, E-2-4)-(3)-(①, E-2-4)-(9)-(②)] 事前学習: 過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題を学習しておく。
5月7日(火) 2限(9:50~ 10:50)	口腔外科学分野 大橋祐生講師	悪性腫瘍 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 顎口腔領域の悪性腫瘍の臨床症状を説明する。 2. 顎口腔領域の悪性腫瘍の治療、予後について説明する。 事前学習: 口腔外科学第3版医歯薬出版 P250~296、660~716を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月7日(火) 3限(11:00~ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義3 生化学	1. 生化学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の生化学に関する範囲を履修すること。
5月9日(木) 8限(17:30~ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義4 生理学	1. 生理学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の生理学に関する範囲を履修すること。
5月13日(月) 8限(17:30~ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義5 微生物学	1. 微生物学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の微生物学に関する範囲を履修すること。
5月14日(火) 1限(8:40~ 9:40)	医療工学講座 武本真治教授	印象用材料 歯科臨床で使用する印象用材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における印象材の選択基準を説明できる。 2. 印象材の種類とタイプを説明できる。 3. 歯科臨床における印象材の用途を説明できる。 4. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質説明できる。 [D-1-②③、D-2-②] 事前学習: 2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
5月14日(火) 2限(9:50~ 10:50)	歯科麻酔学分野 三浦 仁助教	歯科麻酔学 1 局所麻酔法 局所麻酔法を学ぶことで歯科治療時の局所麻酔の重要性を理解することができる。	1. 局所麻酔の目的を説明できる。 2. 局所麻酔の特徴を説明できる。 3. 局所麻酔添加薬(血管収縮薬)を説明できる。 事前学習: 臨床歯科麻酔学 第5版第4章を1、第5章4を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月14日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義6 歯科理工学	1. 歯科理工学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験2の歯科理工学に関する範囲を履修すること。
5月14日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義3) 「長寿時代のエンドオブ ライフ・ケア」会田薫子 48分	1. 高齢者と慢性疾患患者の増大に伴い終末期ケアにおけるエンドオブライフ・ケアの概念を理解する。 [E-5-1-①～⑩] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
5月16日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義7 病理学	1. 病理学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験2の病理学に関する範囲を履修すること。
5月20日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義8 薬理学	1. 薬理学における必修事項を再度確認し、理解する 事前学習：既に実施された必修試験2の薬理学に関する範囲を履修すること。
5月21日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科放射線学分野 泉澤 充講師	歯科放射線学1 CT・MRI・US 検査 顎顔面領域の適切な診断 を行うため、各種診断装 置の原理と適応について 理解する。	1. CT値、部分容積効果について説明する。 2. 歯科用コーンビームCTとX線CTの画像形成原理と適応を説明する。 3. CTで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記する。 4. MRIの画像形成原理と適応について説明する。 5. MRIで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記する。 [E-1-2)-⑤⑨]
5月21日(火) 2限(9:50～ 10:50)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	唾液の生化学 唾液の成分とその作用に ついて理解する。	1. 唾液の成分を列挙し、その作用を説明できる。 2. 唾液中の酵素の働きを説明できる。 3. 唾液中の抗菌因子の作用機序を説明できる。 [C-2-4)-①③, C-3-4)- (2)-④⑤] 事前学習：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
5月21日(火) 3限(11:00～ 12:00)	病態解析学分野 入江太朗教授	必修対策：疾病の概念1 病理学総論の疾病の概念 について理解する。	1. 炎症について説明できる。 2. 感染症について説明できる。 3. 免疫異常について説明できる。 4. 増殖と修復について説明できる。 [C-5-3)、C-5-5)] 事前学習：スタンダード病理学 p110-188, p42-60を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月21日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義4) 「在宅医療に関わる保険 制度」浜田 淳 38分	1. 在宅医療に関わる保険制度を理解する。 [B-2-2-①②③④⑧] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
5月23日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2 解説ビデオ講義9 医科学	1. 医科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験2の医科学に関する範囲を履修すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月27日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義10 保存修復学1	1. 保存修復学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の保存修復学に関する範囲を履修すること。
5月28日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	矯正歯科学1 顎顔面の成長発育	1. 口腔の発生について説明できる。 2. 頭蓋の成長について説明できる。 3. 上顎の成長について説明できる。 4. 下顎の成長について説明できる。 [C-3-2-③④] 事前学習: 歯科矯正学 p15～56 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月28日(火) 2限(9:50～ 10:50)	小児歯科学・障害者歯科学分野 森川和政教授	小児歯科学1 小児の心身の発育 小児の成長発育を理解する。	1. 小児の年齢を正しく評価できる。 2. 小児の身体的発育を正しく評価できる。 3. 小児の精神発達段階を説明できる。 4. 小児の生理的特徴を理解できる。 [C-3-2)-④] 事前学習: 小児の心身の発育について教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月28日(火) 3限(11:00～ 12:00)	病態解析学分野 佐藤泰生講師	必修対策: 疾病の概念2 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 腫瘍について説明できる。 [C-5-6] 事前学習: スタンダード病理学 p244-282 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
5月28日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義5) 「在宅患者の全身評価」 谷垣 静子 39分	1. 在宅患者の全身評価について理解する。 [E-5-1-①～⑤] 事前学習: 関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
5月30日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義11 保存修復学2	1. 保存修復学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の保存修復学に関する範囲を履修すること。
6月3日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義12 歯内療法学1	1. 歯内療法学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験2の歯内療法学に関する範囲を履修すること。
6月4日(火) 1限(8:40～ 9:40)	発生生物・再生医学分野 原田 英光教授 大津 圭史准教授	顎骨の発生・成長<口腔疾患と全身1> 歯と顎骨の正常発生と加齢にともなう変化、異常について説明できるようになる。	1. 骨の発生について説明できる。 2. 顎骨の発生について説明できる。 3. 大理石病、鎖骨頭蓋異形成症などの全身的な症状とともに、顎顔面に異常が見られる疾患やその原因について組織学的知識と連携させて説明できる。 [C-3-2)-①、C-3-3)-②、C-3-4)-(2)-④⑤、E-2-3)-①④、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤⑥] 事前学習: 最新口腔外科学第5版と小児の口腔科学4版を用いて顎骨の形態異常についての疾患を事前に学修しておくこと。
6月4日(火) 2限(9:50～ 10:50)	小児歯科学・障害者歯科学分野 久慈昭慶准教授	障害者歯科1 総論復習	1. 障害者歯科の社会的問題、行動調節、歯科治療の工夫を確認し、理解する。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①～④、F-3-7)-②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月4日(木) 3限(11:00～ 12:00)	法歯学・災害口腔 医学分野 熊谷章子准教授	ヒトの死 患者の終末期医療から死 亡診断、死別後の遺族対 応までを理解する。	1. 緩和ケアについて説明できる。 2. 終末期医療について説明できる。 3. 死亡診断ができる。 4. グリーフケアについて説明できる。 [A-1-1)-③, A-1-2)-①, C-5-7)-①] 事前学習:「法歯科医学」6～15頁を読み、疑 問点を抽出しておくこと。
6月6日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義13 歯内療法学2	1. 歯内療法学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の歯内 療法学に関する範囲を履修すること。
6月10日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義14 歯周療法学1	1. 歯周療法学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の歯周 療法学に関する範囲を履修すること。
6月11日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 田村晴希講師	薬理学総論 歯科診療を行う上で必要 な薬理的知識を理解す る。	1. 薬物動態を説明できる。 2. 副作用・相互作用を説明できる。 [C-6-2)-⑤, C-6-3)-②] 事前学習課題:総論の要点についてまとめて おくこと。
6月11日(火) 2限(9:50～ 10:50)	関連医学分野 千葉俊美教授	内科学I 循環器疾患・悪性新生物・呼吸器疾患 代表的な循環器疾患・悪 性新生物・呼吸器疾患つ いて理解する。	1. 代表的な循環器疾患・悪性新生物・呼吸器 疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習:講義に関する内容を講義資料およ び教科書で確認し講義に臨むこと。 事後学習:講義に関する内容をまとめること。
6月11日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義15 歯周療法学2	1. 歯周療法学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習 既に実施された必修試験2の歯周療法学に関 する範囲を履修すること。
6月11日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義6) 「要介護高齢者における 口腔管理の重要性」 角 保徳 60分	1. 要介護高齢者における口腔管理の重要性 について理解する。 [E-5-1-③～⑩] 事前学習:関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
6月11日(火) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義16 冠橋義歯学1	1. 冠橋義歯学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の冠橋 義歯学に関する範囲を履修すること。
6月13日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義17 冠橋義歯学2	1. 冠橋義歯学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の冠橋 義歯学に関する範囲を履修すること。
6月17日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義18 有床義歯学1	1. 有床義歯学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の有床 義歯学に関する範囲を履修すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月18日(火) 1限(8:40～ 9:40)	分子微生物学分野 下山佑講師	微生物学各論 病原微生物による感染症 およびその病原因子につ いて理解する。	1. 感染の概念と感染症について説明できる。 2. 病原微生物による感染症・病原因子につ いて説明できる。 [C-3-1)-(①②), E-2-4)-(3)-(①), E-2-4)-(9)-(②] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習して おくこと。
6月18日(火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 岸光男教授	予防歯科学1 疫学・EBM 疫学の基本的考え方を学 ぶことで、診療、地域補 年に対する論理的な方略 を策定できるようになる。	1. 疫学の研究方法を列挙できる。 2. 歯科領域の疫学調査方法を概説できる。 3. 疫学指標を算出できる。 4. EBMの概念を概説できる。 [B-4-1)-(①③④] 事前学習：2年時衛生・公衆衛生学の教科書、 資料の該当範囲を通読しておくこと。
6月18日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義19 有床義歯学2	1. 有床義歯学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験2の有床 義歯学に関する範囲を履修すること。
6月18日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義7) 「在宅義歯のための総義 歯治療マニュアル」皆木 省吾 43分	1. 在宅患者に対する総義歯治療の概要を理 解する。 [E-5-1)-(⑥～⑨] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
6月20日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義20 インプラント学	1. インプラント学における必修事項を再度 確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験2のイン プラント学に関する範囲を履修すること。
6月24日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義21 予防歯科学1	1. 予防歯科学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験2の予防 歯科学に関する範囲を履修すること。
6月25日(火) 1限(8:40～ 9:40)	発生生物・再生医 学分野 原田英光教授 大津圭史准教授	歯の発生からみた歯の構 造の正常と異常 歯の構造についてそれぞ れの成因から説明できる ようになる。歯の先天的 疾患について説明できる ようになる。	1. 歯を構成する組織と形成細胞の分化・基質 形成過程について説明できる。 2. 歯の生理的加齢変化、咬耗・磨耗による組 織変化について説明できる。 3. 歯の数や歯冠の形態、エナメル質形成不全 症などの遺伝子疾患に関わる病因につ いて説明できる。 [E-2-3)-(①), E-2-4)-(1)-(①), E-2-4)-(10)-(⑤), E-3-1)-(①), E-3-2)-(①), E-4-2)-(①] 事前学習：歯の異常に関連した疾患につ いて事前に小児の口腔科学4版を用いて学修して 疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月25日(火) 2限(9:50～ 10:50)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	ホルモンの生化学 ホルモンの構造と作用機序を理解する。	1. 細胞膜受容体と細胞内受容体について説明できる。 2. ペプチドホルモンとステロイドホルモンの作用機構を説明できる。 3. 各種プロテインキナーゼによる細胞内情報伝達機構を概説できる。 [C-2-4)-(2), C-3-4)-(9)-①] 事前学習：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
6月25日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義22 予防歯科学2	1. 予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既の実施された必修試験2の予防歯科学に関する範囲を履修すること。
6月25日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義8) 「在宅患者の摂食嚥下機能評価」 村田 尚道 51分	1. 在宅患者の摂食嚥下機能評価の概要を理解する。 [E-5-1-⑧～⑩] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
6月27日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義23 口腔外科学1	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既の実施された必修試験2の口腔外科学に関する範囲を履修すること。
7月1日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義24 口腔外科学2	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既の実施された必修試験2の口腔外科学に関する範囲を履修すること。
7月2日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	循環 循環器系の働きを理解する。	1. 血液の循環経路を説明できる。 2. 心臓の興奮伝導系を説明できる。 3. 心電図波形の成因と不整脈の心電図を説明できる。 4. 自律神経による血圧調節を説明できる。 5. ホルモンによる血圧調節を説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③] 事前学習：循環について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月2日(火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 岸光男教授	予防歯科学2 医療関連法規 医療関連法規を学ぶことで、臨床における歯科医師の役割を理解することができる。	1. 医療法を概説できる。 2. 医療計画を概説できる。 3. 医療機関の種類を列挙できる。 4. 歯科医師法を概説できる。 5. 歯科衛生士法を概説できる。 [A-7-1)-(2), B-2-1)-(1)～(3)] 事前学習：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。
7月2日(火) 3限(11:00 ～12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義25 歯科麻酔学1	1. 歯科麻酔学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既の実施された必修試験2の歯科麻酔学に関する範囲を履修すること

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月2日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義9) 「嚥下障害患者のリスク 管理」谷口 恵子 51分	1. 嚥下障害患者のリスクを知り、その対応を 理解する。 [E-5-1-③～⑩] 事前学習:関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
7月4日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義26 歯科麻酔学2	1. 歯科麻酔学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の歯科 麻酔学に関する範囲を履修すること。
7月8日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義27 歯科放射線学	1. 歯科放射線学における必修事項を再度確 認し、理解する 事前学習:既に実施された必修試験2の歯科 放射線学に関する範囲を履修すること。
7月9日(火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 藤原尚樹准教授	顎関節の解剖 顎関節の形態を咀嚼様式 から理解する。	1. ヒトの顎関節の特徴を説明できる。 2. 蝶番運動と関連する顎関節の形状を説明 できる。 3. 臼磨運動と関連する顎関節の形状を説明 できる。 4. 前後運動と関連する顎関節の形状を説明 できる。 5. 顎運動と咀嚼筋との関連を説明できる。 [E-2-1)-⑥] 事前学習:顎関節の構造、咀嚼筋の起始・停 止、下顎限界運動についてまとめておくこと。 DESS 演習または WebClass に提示する歯科医 師国家試験の過去問から関連領域の問題を解 き、必要な知識をまとめておくこと。
7月9日(火) 2限(9:50～ 10:50)	補綴・インプラ ント学分野 高藤恭子助教	インプラント学1 インプラント外科につ いて治療の流れを理解す る。	1. インプラント治療の審査診断を理解する。 2. インプラント1次手術および2次手術の流 れを理解する。 3. インプラント外科に必要な器具、装置を理 解する。 [E-3-4)-(3)-①～③⑤] 事前学習:4年次に使用した教科書、レジメ、 講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月9日(火) 3限(11:00 ～12:00)	歯科口腔先進医療 開発センター 角 保徳センター長	特別講義 超高齢社会の到来と歯科 医療の将来展望	1. 超高齢社会における歯科医療について説 明できる。
7月11日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義28 総合歯科学	1. 総合歯科学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習:既に実施された必修試験2の総合 歯科学に関する範囲を履修すること。
7月16日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラ ント学分野 小林琢也准教授	有床義歯学1 部分床義歯に必要な知識 を整理して床義歯製作手 法を理解する	1. 部分床義歯の各操作の目的を説明出来る。 2. 部分床義歯製作術式を説明出来る [E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習:義歯製作における精密印象採得につ いて、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月16日(火) 2限(9:50～ 10:50)	医療工学講座 武本真治教授	歯冠修復用材料 歯科臨床に応用する歯冠 修復材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における歯冠修復材の選択基準 を説明できる。 2. 歯冠修復材の種類を説明できる。 3. 歯冠修復材の成分および性質を説明できる。 歯冠修復材の取り扱い上の注意点を説明 できる。 [D-1-②、D-2-①②] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタン ダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 WebCl ass に掲載の講義要旨の空欄を講義開 始までに補充する。
7月16日(火) 3限(11:00 ～12:00)	補綴・インプラン ト学分野 田邊憲昌講師	冠橋義歯学1 クラウン・ブリッジの治 療の流れ クラウン・ブリッジの臨 床の手順について理解す る	1. 診療室と技工室での治療の流れを理解する。 2. 診療室と技工室で使用する機器や材料の 特性を理解する。 [E-3-4)-(1)-①～⑬] 事前学習：クラウン・ブリッジ補綴学で使 用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に 臨むこと。
7月16日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育（在宅介護医療 ビデオ講義10） 「在宅患者の栄養指導・ 栄養評価」坂本 八千代 39分	1. 在宅患者の栄養指導や栄養評価について 理解する。 [E-5-1-⑩] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
7月18日(木) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義29 歯科矯正学1	1. 歯科矯正学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験2の歯科 矯正学に関する範囲を履修すること。
7月22日(月) 8限(17:30～ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義30 歯科矯正学2	1. 歯科矯正学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験2の歯科 矯正学に関する範囲を履修すること。
7月23日(火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 藤原尚樹准教授	咬合と歯の形態 咬合について歯の形態と の関係から理解する。	1. 前歯部の上顎・下顎の歯の形態的特徴から 咬合について説明できる。 2. 臼歯部の上顎・下顎の形態的特徴から咬合 について説明できる。 3. 歯の排列の特徴について説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：各歯の解剖学的特徴についてまと めておくこと。DESS 演習またはWebCl ass に提示す る歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問 題を解き、必要な知識をまとめておくこと。
7月23日(火) 2限(9:50～ 10:50)	補綴・インプラン ト学分野 玉田泰嗣助教	摂食嚥下学1 スクリーニング検査・ VE・VF	1. 摂食嚥下機能のスクリーニング検査の流 れ検査結果の意味を説明できる。 2. VE・VFの流れ、画像診断、検査結果の意 味を説明できる。 [E-5-1-⑧⑨] 事前学習：摂食嚥下リハビリテーションで使 用したレジメ、講義ノートに目を通して講義 に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月23日(火) 3限(11:00 ~12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義31 小児歯科学1	1. 小児歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に行われた必修試験2の小児歯科学に関する範囲を履修すること。
7月23日(火) 7限(16:30~ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義11) 「在宅での歯科衛生指 導」寺尾 忍 43分	1. 在宅患者への口腔衛生指導について理解する。 [E-5-1-④~⑦] 事前学習: 関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
7月23日(火) 8限(17:30~ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義32 小児歯科学2	1. 小児歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に行われた必修試験2の小児歯科学に関する範囲を履修すること。
7月25日(木) 8限(17:30~ 18:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修2解説ビデオ講義33 障害者歯科	1. 障害者歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に行われた必修試験2の障害者歯科学に関する範囲を履修すること。
8月20日(火) 1限(8:40~ 9:40)	う蝕治療学分野 岡田伸男講師	齲蝕 保存修復学2 齲蝕	1. 齲蝕歯質において除去すべき歯質を説明できる。 2. 齲蝕において残すべき歯質を説明できる。 3. 齲蝕検知液について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-(⑦] 事前学習: 齲蝕の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書(医歯薬保存修復学)にて確認する。
8月20日(火) 2限(9:50~ 10:50)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	齲蝕 歯内療法学2 歯髄炎	1. 炎症の病態を説明できる。 2. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明できる。 3. 麻酔抜髄法の術式を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習: 歯髄炎について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書(医歯薬歯内治療学)にて確認する。
8月20日(火) 3限(11:00 ~12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義1 解剖学	1. 解剖学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習: 既に行われた必修試験3の解剖学に関する範囲を履修すること。
9月3日(火) 1限(8:40~ 9:40)	歯周療法学分野 佐々木大輔講師	歯周病学2(要点2) 歯周領域に求められる演 習問題を理解し、歯周外 科を中心に要点を理解す る。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題が理解できる。 3. 歯周領域の要点を修得できる。 [E-3-2)-(①③④、E-3-3)-(3)-(①②③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー2版、臨床歯周病学2版で復習しておく。
9月3日(火) 7限(16:30~ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義12) 「服薬の影響と服薬指 導」名倉 弘哲 48分	1. 高齢者に対する服薬の影響と服薬指導について理解する。 [E-5-1-①②] 事前学習: 関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月10日(火) 1限(8:40～ 9:40)	発生生物・再生医学分野 原田英光教授 大津圭史准教授	上皮・結合組織の総括的理解～その構造と機能破綻を考える 上皮・結合組織の基本的な構造・機能とその破綻によって引き起こされる疾患との関連を理解できるようになる。	1. 上皮・結合組織の基本的構造が説明できる。 2. 上皮の細胞と細胞間接着装置について説明できる。 3. 細胞間接着装置に異常を来す疾患を列挙して、その病因を説明できる。 4. 結合組織の細胞成分と細胞外マトリックスについて説明できる。 5. 結合組織に異常を来す疾患を列挙して、その病因を説明できる。 [C-2-4)-③、C-3-4)-(1)(2)-②、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤] 事前学習：細胞間接着装置・細胞外基質に関連した疾患について、最新口腔外科学第5版を用いて事前に学修しておくこと。
9月10日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	矯正治療における抜歯矯正歯科学2	1. 矯正治療における抜歯の目的について説明できる。 2. Tweedの抜歯基準について説明できる。 3. Tooth size ratioについて説明できる。 4. 矯正治療における固定について説明できる。 [E-4-1-③] 事前学習：歯科矯正学 p157～164、p185～192を読み、疑問点を抽出しておくこと。
9月10日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義2 組織学	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の組織学に関する範囲を履修すること
9月17日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 山田ありさ助教	局所麻酔薬・全身管理 歯科診療を行う上で必要な局所麻酔薬と偶発症の際に用いる主な薬物を理解する。	1. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 2. 偶発症の際に用いる主な薬物とその薬理作用を説明できる。 [E-1-4)-(3)-②、E-1-6)-③] 事前学習課題：作用機序と副作用についてまとめておくこと。
9月17日(火) 2限(9:50～ 10:50)	小児歯科学・障害者歯科学分野 森川和政教授 (小児歯科学)	小児歯科学2 歯列・咬合の発育 歯列および咬合の発育を歯の交換の観点から理解する。	1. 切歯交換期の特徴を説明できる。 2. 側方歯群交換期の特徴を説明できる。 [E-2-3)-③] 事前学習：歯列・咬合の発育(歯の交換)について教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月17日(火) 3限(11:00～ 12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義3 生化学	1. 生化学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習 既に実施された必修試験3の生化学に関する範囲を履修すること。
9月17日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義13) 「在宅介護現場における食支援について」 菊谷武 71分	1. 在宅介護現場における食事の支援について理解する。 [E-5-1-①,⑩] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月24日(火) 1限(8:40～ 9:40)	発生生物・再生医学分野 原田 英光教授 大津 圭史准教授	顎関節の構造と顎関節症 顎関節の基本的な構造・機能と関節円板の機能異常によって引き起こされる下顎運動の障害と臨床症状との関係を理解する。	1. 顎関節の基本的構造が説明できる。 2. 顎関節症による下顎の運動障害と関節円板の関係が理解できるようになる。 [E-2-4)-(7)] 事前学習 ：顎関節症の分類とその症状と治療法について最新口腔外科学第5版を用いて事前に学修しておくこと。
9月24日(火) 2限(9:50～ 10:50)	小児歯科学・障害者歯科学分野 久慈昭慶准教授	障害者歯科2 各論復習	1. 各障害者(知的障害, 自閉スペクトラム障害, 脳性麻痺, てんかん, 筋ジストロフィーなど)の知識を確認し理解する。 [E-5-2)-(①～④), E-1-4)-(4)]
9月24日(火) 3限(11:00 ～12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3 解説ビデオ講義4 生理学	1. 生理学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習 ：既に実施された必修試験3の生理学に関する範囲を履修すること。
9月24日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義14) 「多職種における経口摂取支援」 森光 大 72分	1. 多職種連携で行う経口摂取の支援について理解する。 [E-5-1)-(⑧～⑩)] 事前学習 ：関連するコンテンツをHPで事前に確認すること。
10月1日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学分野 小林琢也准教授	有床義歯学2 全部床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する	1. 全部床義歯の各操作の目的を説明出来る。 2. 全部床義歯製作術式を説明出来る。 [E-3-4)-(2)-(①～⑭)] 事前学習 ：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月1日(火) 2限(9:50～ 10:50)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	炎症の生化学 炎症を調節する細胞や分子の作用を理解する。	1. 炎症関連細胞を列挙し、それらの働きについて説明できる 2. 代表的なケミカルメディエーターを列挙し、その作用を説明できる。 3. アラキドン酸カスケードを説明できる。 [C-2-1)-(①③), C-5-5)-(①②)]
10月1日(火) 3限(11:00 ～12:00)	病態解析学分野 入江太朗教授	必修対策：疾病の概念3 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 循環障害について説明できる。 [C-5-4)] 事前学習 ：スタンダード病理学 p74-109 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
10月8日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 田村晴希講師	抗菌薬 歯科診療を行う上で必要な抗菌薬を理解する。	1. 抗菌薬の分類、作用機序と副作用を説明できる。 2. 適切な抗菌薬の使用を説明できる。 [C-6-2)-(②), C-6-4)-(①②)] 事前学習課題 ：抗菌薬の分類、作用機序と副作用についてまとめておくこと。
10月8日(火) 2限(9:50～ 10:50)	病態解析学分野 佐藤泰生講師	必修対策：疾病の概念3 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 内分泌障害について説明できる。 2. 染色体・遺伝子および発生の異常について説明できる。 3. 代謝障害について説明できる。 [C-5-1)、C-5-3)] 事前学習 ：スタンダード病理学 p64-71、p190-213、p216-241 を読み、疑問点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月8日(火) 3限(11:00 ~12:00)	補綴・インプラント学 分野 齊藤裕美子助教	冠橋義歯学2 クラウンの口腔内試適・ 調整 クラウン・ブリッジの口 腔内試適と調整について 理解する。	1. クラウンの口腔内試適・調整に使用する機 器と検査法を説明できる。 2. クラウンの口腔内試適・調整の臨床の手順 を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑩] 事前学習：クラウン・ブリッジ補綴学で使用 したレジメ、講義ノートに目を通して講義に 臨むこと。
10月29日 (火) 1限(8:40~ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	顎顔面の感覚 顎顔面領域の感覚につい て理解する。	1. 顎顔面の体性感覚の受容機構と特徴を説 明できる。 2. 顎顔面の体性感覚の伝導路を説明できる。 3. 味覚の受容機構を説明できる。 4. 味覚の伝導路を説明できる。 [C-3-4)-(6)-①~④、C-3-4)-(5)-④、 E-2-2)-(9)⑩] 事前学習：顎顔面の感覚について、2年次の 生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を 通して講義に臨むこと。
10月29日 (火) 2限(9:50~ 10:50)	補綴・インプラ ント学分野 高藤恭子助教	インプラント学2 インプラント補綴につい て治療の流れを理解す る。	1. インプラント補綴処置の流れを理解する。 2. インプラント補綴に必要な器具、装置を理 解する。 [E-3-4)-(3)-⑥] 事前学習：4年次に使用した教科書、レジメ、 講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月29日 (火) 3限(11:00 ~12:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義5 微生物学	1. 微生物学における必修事項を再度確認し、 理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の微生 物学に関する範囲を履修すること。
11月5日(火) 1限(8:40~ 9:40)	補綴・インプラ ント学分野 玉田泰嗣助教	摂食嚥下学2 訓練計画立案・間接訓 練・直接訓練	1. 検査の結果から適切な訓練計画を立案で きる。 2. 適切な訓練の選択、訓練の内容・効果を 説明できる。 [E-5-1)-(8), ⑨] 事前学習：摂食嚥下リハビリテーションで使 用したレジメ、講義ノートに目を通して講義 に臨むこと。
11月5日(火) 2限(9:50~ 10:50)	歯科放射線学分 野 泉澤 充講師	歯科放射線学2 放射線治療 口腔癌の放射線治療につ いて方法、適応に関する 知識を修得する。	1. 口腔癌の放射線治療の方法と口腔の管理 を修得する。 [E-1-2)-(1)~③、E-2-4)-(6)-③]
11月5日(火) 3限(11:00~ 12:00)	歯科麻酔学分野 四戸 豊講師	歯科麻酔学2 全身麻酔の理論、気道確 保法を学ぶことで全身麻 酔を理解することができる。	1. 全身麻酔の理論を説明できる。 2. 吸入麻酔法を説明できる。 3. 麻酔導入法・麻酔維持・麻酔の覚醒を説明 できる。 4. 全身麻酔における気道確保法を説明できる。 [E-1-4)-(4)] 事前学習：臨床歯科麻酔学第5版 第7章を 読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月5日(火) 4限(13:00~ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義6 歯科理工学	1. 歯科理工学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の歯科 理工学に関する範囲を履修すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月5日(火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義15) 「認知症における口腔管 理」①枝広 あや子 87 分	1. 認知症患者の口腔管理について理解する。 [E-5-2-①～④] 事前学習:関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
11月5日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義15) 「認知症における口腔管 理」②枝広 あや子 87 分	1. 認知症患者の口腔管理について理解する。 [E-5-2-①～④] 事前学習:関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
11月12日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	口腔外科学分野 宮本郁也教授	炎症 炎症の概念を理解し、歯 性感染症に関する知識を 習得する。	1. 顎口腔の炎症の症状、診断法、治療法を説 明する。 2. 歯性感染症の概念と感染経路を説明する。 3. 顎骨髄炎の症状、経過、治療法について 説明する。 事前学習:口腔外科学第3版医歯薬出版P125 ～162を読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月12日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	口腔外科学分野 宮本郁也教授	嚢胞 口腔顎顔面領域に発生す る嚢胞の分類、発生病因、 診断、治療法を習得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を説明する。 2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞の治療 法を説明する。 事前学習:口腔外科学第3版医歯薬出版P297 ～326を読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月12日 (火) 3限(11:00～ 12:00)	関連医学分野 千葉俊美教授	内科学Ⅱ 腎・精神疾患 代表的な腎・精神疾患つ いて理解する。	1. 代表的な腎・精神疾患について理解し説明 できる。 [E-6-②] 事前学習:講義に関する内容を講義資料およ び教科書で確認し講義に臨むこと。 事後学習:講義に関する内容をまとめること。
11月12日 (火) 4限(13:00～ 14:00)	予防歯科学分野 岸光男教授	予防歯科学3 地域保健総論 地域保健の基本概念と根 幹となる法規を学ぶこと で地域保健の意義を理解 することができる。	1. プライマリヘルスケアとヘルスプロモー ションの違いを説明できる。 2. ヘルスプロモーションの方略を列挙できる。 3. 健康増進法を概説できる。 4. 地域保健法を概説できる。 [A-7-1)-④、B-2-2)-①、B-3-1)-①～④] 事前学習:3年時社会と歯学の教科書、資料 の該当範囲を通読しておくこと。
11月12日 (火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3 解説ビデオ講義7 病理学	1. 病理学における必修事項を再度確認し、理 解する。 事前学習:既に実施された必修試験3の病理 学に関する範囲を履修すること。
11月12日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義16) 「嚥下困難者に対する服 薬支援-簡易懸濁法など -」倉田 なおみ 48分	1. 嚥下困難者に対する服薬支援の概要を理 解する。 [E-5-1-①②⑧] 事前学習:関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月19日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学 分野 齊藤裕美子助教	冠橋義歯学3 クラウン・ブリッジの接 着 クラウン・ブリッジ接着 について理解する。	1. クラウン・ブリッジ補綴に使用する材料と 表面処理について理解する。 2. セメントの種類と特徴を理解する。 [E-3-4)-(1)-⑩] 事前学習:クラウン・ブリッジ補綴学で使 用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に 臨むこと。
11月19日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	細胞情報科学分野 帖佐直幸准教授	骨リモデリング 骨リモデリングのメカニ ズムについて理解する。	1. 骨吸収因子による骨芽細胞を介した破骨 細胞の分化と成熟について説明できる。 2. 破骨細胞による骨吸収を分子レベルで説 明できる。 3. 骨形成や骨吸収と体内カルシウム動態と の関連性について理解する。 [E-2-2)-(⑤⑥)] 事前学習:到達目標の内容に関し教科書で調 べて講義に臨むこと。
11月19日 (火) 3限(11:00～ 12:00)	歯周療法学分野 村井 治助教	歯周病学3(要点3) 歯周領域に求められる演 習問題を理解し、歯周外 科を中心に要点を理解す る。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明 できる。 2. 歯周領域の演習問題が理解できる。 3. 歯周領域の要点を修得できる。 [E-3-2)-(①③④)、E-3-3)-(3)-(①～③)] 事前学習:ザ・ペリオドントロジー2版、臨 床歯周病学2版で復習しておく。
11月19日 (火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義8 薬理学	1. 薬理学における必修事項を再度確認し、理 解する。 事前学習:既に実施された必修試験3の薬理 学に関する範囲を履修すること。
11月19日 (火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義9 医科学	1. 医科学における必修事項を再度確認し、理 解する。 事前学習:既に実施された必修試験3の医科 学に関する範囲を履修すること。
11月19日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	医療工学講座 武本真治教授	成形修復材-コンポジット レジンを中心に レジンに無機質フィラー が配合された複合レジン ならびにそれ以外の成形 修復材料の構成と特性を 学ぶ。	1. 複合レジンの構成、成分を説明できる。 2. 成分モノマーの特徴を説明できる。 3. 補強材としてのフィラーの種類、特徴を説 明できる。 [D-1-(①)、D-2-(①)] 事前学習:2・3年次に使用した教科書(スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開 始までに補充する。
11月26日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	う蝕治療学分野 岡田伸男講師	齶蝕 保存修復学3 コンポジットレジン修復	1. コンポジットレジン修復の手順について 説明できる。 2. 接着技法について説明できる。 3. 症例に応じた修復法、接着技法を説明できる。 [E-3-3)-(1)-(②⑤)、E-5-1)-(⑦)] 事前学習:コンポジットレジン修復について、講 義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、 教科書(医歯薬保存修復学)にて確認する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月26日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	齶蝕 歯内療法学3 根尖性歯周炎	1. 感染根管治療の治療を説明できる。 2. 感染根管治療に用いる道具を用意できる。 3. 根管の無菌化を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：感染根管治療について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書(医歯薬保存修復学)にて確認する。
11月26日 (火) 3限(11:00～ 12:00)	補綴・インプラント学分野 高藤恭子助教	インプラント学3 インプラントのメンテナンスと合併症について理解する。	1. インプラントメンテナンスの重要性と方法を理解する。 2. インプラント治療の合併症について理解する。 [E-3-4)-(3)-④⑦] 事前学習：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月26日 (火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科麻酔学分野 佐藤健一教授	歯科麻酔学3 麻酔の偶発症 局所麻酔時の偶発症とそのメカニズムを学ぶことで偶発症の対処法を理解することができる。	1. 局所麻酔および歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。(神経性ショック、過換気症候群、アナフィラキシー、局所麻酔中毒、血管収縮薬に対する反応、メトヘモグロビン血症) 2. ショックを説明できる。 [E-1-4)-(3)-⑤, C-5-4)-⑥] 事前学習：臨床歯科麻酔学第5版 第5章5-2、第5章12-2を読み、疑問点を抽出しておくこと。
11月26日 (火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義10 歯科矯正学1	1. 歯科矯正学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の歯科矯正学に関する範囲を履修すること。
11月26日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義11 歯科矯正学2	1. 歯科矯正学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の歯科矯正学に関する範囲を履修すること。
12月3日(火) 1限(8:40～ 9:40)	分子微生物学分野 下山佑講師	免疫学 免疫応答による生体防御の仕組みを理解する。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患について説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表的な自己免疫疾患について説明できる。 [C-3-2)-①～⑦, E-2-4)-(9)-③] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月3日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	歯科矯正学3 矯正治療のフォースシ ステム	1. 矯正力の4Dについて説明できる。 2. 矯正力と顎整形力について説明できる。 3. マルチブラケット装置における矯正力に ついて説明できる。 [E-4-1-④⑤⑥] 事前学習：歯科矯正学 p179～192 を読み、疑 問点を抽出しておくこと。
12月3日(火) 3限(11:00～ 12:00)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 森川和政教授 (小児歯科学)	小児歯科学3 小児の歯髄処置 乳歯および幼若永久歯に 適切な歯内療法を行うた めの基本的事項を理解す る。	1. 症状やエックス線画像から、診断を行い、 それにふさわしい処置法を選択できる。 [E-4-2)-④⑤] 事前学習：小児の歯内療法について教科書に 目を通して講義に臨むこと。
12月3日(火) 4限(13:00～ 14:00)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 久慈昭慶准教授	障害者歯科3 症候群復習	1. 各種症候群の知識を復習し理解する。 [E-2-4)-(10)-⑤⑥]
12月3日(火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義12 小児歯科学	1. 小児歯科学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既実施された必修試験3の小児 歯科学に関する範囲を履修すること。
12月3日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義13 障害者歯科学	1. 障害者歯科学における必修事項を再度確 認し、理解する。 事前学習：既実施された必修試験3の障害 者歯科学に関する範囲を履修すること。
12月10日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	予防歯科学分野 佐藤俊郎助教	予防歯科学4 地域保健各論 異なる対象集団に対する 保健介入方法を学ぶこと で、地域保健に関する応 用性を身につけることが できる。	1. 母子保健を概説できる。 2. 学校保健を概説できる。 3. 産業保健を概説できる。 [A-7-1)-①③、B-2-2)-①] 事前学習：3年時社会と歯学の教科書、資料 の該当範囲を通読しておくこと。
12月10日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 佐藤俊郎助教	予防歯科学5 社会保障・介護保険 社会保障制度の概要と介 護保険制度の仕組みを学 ぶことで、医療の公平な 分配の概念を身につける ことができる。	1. 社会保障の種類を列挙できる。 2. 医療保険の仕組みを説明できる。 3. 公費負担医療を列挙できる。 4. 介護保険給付と地域支援事業の違いを説 明できる。 [B-2-2)-①～⑤⑧] 事前学習：3年時社会と歯学の教科書、資料 の該当範囲を通読しておくこと。
12月10日 (火) 3限(11:00～ 12:00)	予防歯科学分野 佐藤俊郎助教	予防歯科学6 齲蝕の予防 齲蝕発生機序を学ぶこと により、個人のリスクに 応じた齲蝕予防法を選択 できるようになる。	1. 齲蝕のリスク要因を列挙できる。 2. 齲蝕のリスク評価法を列挙できる。 3. リスク要因と予防法を対応できる。 4. フッ化物による齲蝕予防の原理を説明で きる。 [B-3-2)-①②⑤] 事前学習：3年時DTPの教科書、資料の該当 範囲を通読しておくこと。
12月10日 (火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義14 口腔外科学1	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既実施された必修試験3の口腔 外科学に関する範囲を履修すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月10日 (火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義15 口腔外科学2	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の口腔外科学に関する範囲を履修すること。
12月10日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義17) 「地域における多職種連 携～経口維持加算では何 をするのか～」高橋 賢 晃 67分	1. 多職種で行う高齢者への食支援における 傾向維持加算の内容を理解する。 [B-2-2-①②③④⑧] 事前学習：関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
12月17日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	医療工学講座 武本真治教授	義歯用材料 歯科臨床に応用する義歯 用材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における義歯用材料の選択基準 を説明できる。 2. 義歯用材料の種類を説明できる。 3. 義歯用材料の成分および性質を説明でき る。 4. 義歯用材料の取り扱い上の注意点を説明 できる。 [D-1-②、D-2-②] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 WebCl ass に掲載の講義要旨の空欄を講義開 始までに補充する。
12月17日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	補綴・インプラ ント学分野 小林琢也准教授	有床義歯学3 床義歯製作に必要な埋 没・重合・研磨の方法を 理解する。	1. 床義歯の埋没・重合・研磨の方法を説明出 来る。 2. 埋没・重合・研磨の手順を説明出来る。 [E-3-4)-(2)-⑩、⑪] 事前学習：義歯製作における精密印象採得につ いて、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月17日 (火) 3限(11:00～ 12:00)	補綴・インプラ ント学分野 玉田泰嗣助教	摂食嚥下学3 訪問歯科診療・高齢者の 栄養管理	1. 訪問歯科診療の流れと準備について説明 できる。 2. 高齢者の栄養評価法、栄養管理に関する 方法を説明できる。 [E-5-1-⑦⑩] 事前学習：摂食嚥下リハビリテーションで使 用したレジメ、講義ノートに目を通して講義 に臨むこと。
12月17日 (火) 4限(13:00～ 14:00)	法歯学・災害口腔 医学分野 熊谷章子准教授	災害発生時の病院対応 発災直後の歯科医師とし ての適切な対応を身につ ける。	1. 歯科治療中に発生した災害に対応できる。 2. 発災後の適切な患者誘導ができる。 3. 頭頸部領域の災害傷病者に対応できる。 4. ロールプレーイングを取り入れて、発災後 超急性期から急性期での歯科医師の役割 の理解を深める。 [A-7-1)-①, B-2-2)-⑨] 事前学習：「災害歯科医学」32～43頁を読み、 疑問点をまとめておくこと。
12月17日 (火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義16 歯周病学	1. 歯周療法学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の歯周 療法学に関する範囲を履修すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月17日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義18) 「呼吸理学療法 -基礎 編-」宮川 哲夫 53分	1. 呼吸理学療法の手段を学び、高齢者の呼吸 管理を理解する。 [E-6-①②] 事前学習: 関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
12月24日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 藤原尚樹准教授	唾液腺の構造と位置 唾液腺(特に大唾液腺) の位置と支配神経を理解 する。	1. 大唾液腺・小唾液腺の位置と付近にある解 剖学的構造について説明できる。 2. 唾液腺の分泌を調節する支配神経につい て説明できる。 3. 唾液腺の支配神経の走行と障害を関連づ けて説明できる。 [E-2-2)-⑥] 事前学習: 唾液腺の解剖学的特徴についてま とめておくこと。DESS 演習または WebCl ass に提示する歯科医師国家試験の過去問から関 連領域の問題を解き、必要な知識をまとめて おくこと。
12月24日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	口腔外科学分野 川井忠講師	唾液腺疾患 唾液腺疾患の症状、診断 および治療法を習得す る。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明する。 2. 唾液腺の腫瘍性疾患を説明する。 3. 唾液腺の閉塞性を説明する。 事前学習: 口腔外科学第3版医歯薬出版 P377 ～429を読み、疑問点を抽出しておくこと。
12月24日 (火) 3限(11:00～ 12:00)	口腔外科学分野 川井忠講師	先天異常および後天異 常 顎顔面口腔領域に異常を きたす先天異常・後天異 常の症状、診断、治療法 を習得する。	1. 先天異常・後天異常の概念と成因について 説明する。 2. 唇顎口蓋裂を説明する。 3. 顎変形症を説明する。 事前学習: 口腔外科学第3版医歯薬出版 P39 ～84、596～650を読み、疑問点を抽出してお くこと。
12月24日 (火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義17 総合歯科学	1. 総合歯科学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習: 既に実施された必修試験3の総合 歯科学に関する範囲を履修すること。
12月24日 (火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義19) 「地域における在宅高齢 者の栄養食事指導の現状 とポイント」①前田 佳 予子 84分	1. 在宅高齢者に対する栄養指導の内容を理 解する。 [E-5-1-⑩] 事前学習: 関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。
12月24日 (火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科 医学教育(在宅介護医療 ビデオ講義19) 「地域における在宅高齢 者の栄養食事指導の現状 とポイント」②前田 佳 予子 84分	1. 在宅高齢者に対する栄養指導の内容を理 解する。 [E-5-1-⑩] 事前学習: 関連するコンテンツをHPで事前に 確認すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月14日(火) 1限(8:40～ 9:40)	分子微生物学分野 下山佑講師	口腔細菌 A 口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、齶蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序を理解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. 齶蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 [A-5-3)-①②, C-3-1)-①～③⑥, E-1-4)-⑥⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①～⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
1月14日(火) 2限(9:50～ 10:50)	口腔外科学分野 山田浩之教授	口腔粘膜疾患 口腔粘膜疾患の症状、診断、治療法を習得する。	1. 口内炎やアフタの症状、治療法について説明する。 2. 水疱性疾患、ウイルス性疾患の症状、治療法について説明する。 3. 角化性疾患、色素沈着などの口腔粘膜疾患の症状について説明する。 事前学習：口腔外科学第3版医歯薬出版 P163～182 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
1月14日(火) 3限(11:00～ 12:00)	口腔外科学分野 山田浩之教授	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の症状、診断、治療法を習得する。	1. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍を列挙し、その特徴について説明する。 2. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍の症状、治療法について説明する。 事前学習：口腔外科学第3版医歯薬出版 P199～226 を読み、疑問点を抽出しておくこと。
1月14日(火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 18 有床義歯学	1. 有床義歯学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の有床義歯学に関する範囲を履修すること。
1月14日(火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 19 予防歯科学 1	1. 予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の予防歯科学に関する範囲を履修すること。
1月14日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 20 予防歯科学 2	1. 予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の予防歯科学に関する範囲を履修すること。
1月21日(火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 藤原尚樹准教授	印象採得に関わる解剖学 印象採得に必要な口腔内の構造について理解する。	1. 印象採得に関連する解剖学的構造について説明できる。 2. 口腔を構成する筋肉の付着部について説明できる。 [E-2-1)-③] 事前学習：口腔内の解剖学的特徴・側頭筋・咽頭の筋の走行についてまとめておくこと。 DESS 演習または WebClass に提示する歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問題を解き、必要な知識をまとめておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月21日(火) 2限(9:50～ 10:50)	補綴・インプラント 学分野 小林琢也准教授	有床義歯学 4 床義歯製作に必要な口腔 の解剖と精密印象採得を 理解する。	1. 義歯製作に必要な解剖学的ラウンドマー クと圧負担域を説明出来る。 2. 筋圧形成に係わる筋を説明出来る。 3. 精密印象の目的と方法および手順を説明 出来る。 [E-3-4)-(2)-⑤⑥⑩⑫] 事前学習：義歯製作における精密印象採得につ いて、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
1月21日(火) 3限(11:00～ 12:00)	補綴・インプラント 学分野 田邊憲昌講師	冠橋義歯学 4 咬合器の使用法と下顎運 動 咬合器の使用法と下顎運 動について理解する	1. 咬合器の分類を理解する。 2. 下顎運動を理解する。 [E-3-4)-(1)-①～⑬] 事前学習：クラウン・ブリッジ補綴学で使用 したレジメ、講義ノートに目を通して講義に 臨むこと。
1月21日(火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 21 インプラント学	1. インプラント学における必修事項を再度 確認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3のイン プラント学に関する範囲を履修すること。
1月21日(火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 22 冠橋義歯学	1. 冠橋義歯学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の冠橋 義歯学に関する範囲を履修すること。
1月21日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 23 歯科放射線学	1. 歯科放射線学における必修事項を再度確 認し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の歯科 放射線学に関する範囲を履修すること。
1月28日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態生理学分野 成田欣弥講師	嚥下・唾液 嚥下および発声・構音に ついて理解する。	1. 嚥下の神経機構を説明できる。 2. 嚥下時に生じる運動を説明できる。 3. 嘔吐の神経機構を説明できる。 4. 嘔吐時に生じる反応を説明できる。 5. 唾液の分泌機構と分泌調節を説明できる。 6. 唾液成分の働きを説明できる。 [E-2-1)-⑨～⑪、E-2-2)-③⑤⑥] 事前学習：嚥下・唾液について、2年次の生 理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
1月28日(火) 2限(9:50～ 10:50)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	歯科矯正学 4 矯正装置	1. 可撤/固定式矯正装置について説明できる。 2. 各種矯正装置の適用症について説明できる。 3. 各種矯正装置の効果について説明できる。 [E-4-1)-⑤⑦] 事前学習：歯科矯正学 p197～243 を読み、疑 問点を抽出しておくこと。
1月28日(火) 3限(11:00～ 12:00)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 森川和政教授 (小児歯科学)	小児歯科学 4 咬合誘導 (保隙処置) 保隙の適応と処置法につ いて理解する。	1. 年齢や欠損状態に応じた保隙装置の選択 ができる。 [E-4-2)-⑨] 事前学習：静的咬合誘導法について教科書に 目を通して講義に臨むこと。
1月28日(火) 4限(13:00～ 14:00)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義 24 保存修復学	1. 保存修復学における必修事項を再度確認 し、理解する。 事前学習：既に実施された必修試験3の保存 修復学に関する範囲を履修すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月28日(火) 5限(14:10～ 15:10)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義25 歯内療法学	1. 歯内療法学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の歯内療法学に関する範囲を履修すること。
1月28日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修3解説ビデオ講義26 歯科麻酔学	1. 歯科麻酔学における必修事項を再度確認し、理解する。 事前学習：既に行われた必修試験3の歯科麻酔学に関する範囲を履修すること。

週間復習試験日程

当該週の火曜日行われた講義内容に関する復習試験を以下の日程で実施する。

実施は金曜日の8時限の17:30から18:30とする。

1	4月19日	8	6月14日	15	8月23日	22	11月1日	29	12月20日
2	4月26日	9	6月21日	16	9月6日	23	11月8日	30	1月10日
3	5月10日	10	6月28日	17	9月13日	24	11月15日	31	1月17日
4	5月17日	11	7月5日	18	9月20日	25	11月22日	32	1月24日
5	5月24日	12	7月12日	19	9月27日	26	11月29日	33	1月31日
6	5月31日	13	7月19日	20	10月4日	27	12月6日		
7	6月7日	14	7月26日	21	10月11日	28	12月13日		

月間復習試験日程

当該月の火曜日行われた全講義内容に関する復習試験を以下の日程で実施する。

実施は土曜日の1時限の8:40から9:40、または8時限の17:30から18:30平日とする。

1	5月25日	3	7月27日	5	9月28日	7	12月9日	9	1月25日
2	6月22日	4	8月24日	6	11月6日	8	1月4日		

2019 年度 5 年 DESS 演習（空き時間利用）

（必ずお試し演習で予習してから各演習に臨むこと）

臨床実地問題：4 月出題（各正答率 8 割以上で合格）

7 月末までに全て合格すること。（前期総合試験の受験資格、不合格の場合 5 月以降に再演習）

必修・一般問題：5 月出題（基礎演習・臨床演習、各正答率 8 割以上で合格）

翌年 1 月末までに全て合格すること。（後期総合試験の受験資格、不合格の場合 6 月以降に再演習）

2019 年度 5 年 DESS 最終演習（講義室演習）設定

（必ずお試し演習で予習してから最終演習に臨むこと）

時間（約 120 分）：総合講義試験終了後、午前 9 時 50 分～午前 12 時

実施日	出題数	必修（基礎・臨床）				臨床実地	
		修復 I (34)	修復 II (29)	歯内 I (29)	歯内 II (27)	歯周 I (37)	歯周 II (39)
5 月 25 日(土)	195						
6 月 22 日(土)	186	有床 I (37)	有床 II (39)	有床 III (29)	クラブリ他 I (44)	クラブリ他 II (37)	
7 月 27 日(土)	154	口外 I (38)	口外 II (34)	口外 III (40)	口外 IV (42)		
8 月 24 日(土)	135	小児 I (47)	小児 II (48)	小児 III (28)	高齢者 (12)		
9 月 28 日(土)	149	矯正 I (41)	矯正 II (41)	放射線 (36)	麻酔 (31)		
1 月 4 日(土)	159	必基礎① (47)	必基礎② (44)	必基礎③ (33)	必基礎④ (35)		
1 月 25 日(土)	164	必修保存 (28)	必修補綴 (42)	必修口外 (47)	必修矯小 (47)		

最終演習の臨床実地問題（各正答率 8 割以上で合格）

翌年 1 月末までに全て合格すること。（後期総合試験の受験資格、不合格の場合再演習）

最終演習の必修問題（履修必須）

指定された演習日に必ず履修すること。（後期総合試験の受験資格）

必修問題の内訳：

必基礎①：解剖・生理・生化・病理

必基礎②：細菌・薬理・組織

必基礎③：理工・衛生

必基礎④：衛生

必修保存：修復・歯内・歯周

必修補綴：有床・クラブリ・高齢者

必修口外：口外・歯麻・歯放

必修矯小：矯正・小児歯科

成績評価方法

- ・定期試験は各科目を統合した総合試験とする。
- ・総合試験（前期、後期）を90%、週間および月間復習試験を10%として評価する。
 - *前期総合試験と後期総合試験の点数配分 前期：後期＝40%：50%
 - *判定基準は総合試験、週間および月間復習試験の合計が65%以上を合格とする。

総合試験の受験資格1（出席）

以下の条件をすべて満たした場合に出席にかかる前期試験の受験資格を認める。

- ・4～7月の当該科目の出席（講義およびDESS最終演習）が5分の4以上であること
- ・4～7月に実施される週間復習試験を5分の4以上受験していること
- ・4～7月に実施される月間復習試験をすべて受験していること
- ・同日受験総合試験（第6学年第1回総合試験）を受験していること

以下の条件をすべて満たした場合に出席にかかる後期試験の受験資格を認める。

- ・8月～1月の当該科目の出席（講義およびDESS最終演習）が5分の4以上であること
- ・9～1月に実施される週間復習試験を5分の4以上受験していること
- ・8～1月に実施される月間復習試験を5分の4以上受験していること
- ・同日受験総合試験（第6学年第3回総合試験）を受験していること

総合試験の受験資格2（DESS演習および必修試験）

以下の条件をすべて満たした場合に、DESS演習及び必修試験に係る前期試験の受験資格を認める。

- ・5～7月に実施するDESS最終演習（講義室演習）及び4月に実施する臨床実地問題演習の成績が80%以上
- ・必修試験（3月25日、4月12日、4月24日）の成績が80%以上
 - *上記各試験で不合格になったものは、再演習または再試験を受験し、前期試験前までに80%以上得点し合格することを原則とする。

以下の条件をすべて満たした場合に、DESS演習及び必修試験に係る後期試験の受験資格を認める。

- ・8～1月に実施するDESS最終演習（講義室演習）及び5月に実施する基礎演習・臨床演習の成績が80%以上
 - *上記各試験で不合格になったものは、再演習を受験し、後期試験前までに80%以上得点し合格することを原則とする。